

平成27年度事業報告書

27年4月1日から28年3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

1 事業の成果

当会の活動は、遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）を拠点に、多世代、広範囲に広がってきている。遠賀川水辺館における来館者数は、24,492名になり、体験学習の参加団体は、小学校や子ども会など130団体を受け入れ、学習ビオトープ春の小川を活用した水生生物調査や、遠賀川でのカヌー体験、釣り体験などを実施した。

また、次世代を担う子ども達の活動拠点として遠賀川水辺館を活用し、当会による活動支援体制や、地域・行政との連携もスムーズになってきている。平成28年3月には遠賀川水辺館の来場者数が35万人を迎えた。

■遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営

◆施設見学、防災学習、体験学習（総合学習の対応）

●遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営

- ・施設見学、環境教育、防災学習、体験学習（総合学習の対応）
- ・遠賀川水辺館カヌースクール
- ・水辺の生き物しらべ
- ・遠賀川釣り体験
- ・金曜日誰でもバードウォッチング

●次世代の活動支援（地域との連携）

- ・キッズLNC…6歳未満の子ども達と保護者
- ・めだかの学校…小学生
- ・YNHC（青少年博物学会）…中学生と高校生
- ・SWEEP・JOC・遠賀川ユースリーダー…大学生、大学院生
- ・遠賀川流域子ども水フォーラム…小5～中高生
- ・伝統文化…小中学生

●まちづくり・環境保全の取り組み

- ・壁面緑化や花壇づくり
- ・春の小川まつり（河川清掃）
- ・中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理
- ・直方市環境カレンダーの作成
- ・リバーチャレンジスクール

市内外の小中学生が来館し様々な体験活動に参加した。全国各地や、海外からの施設見学も増加している。また防災学習は民・官・学や多世代が参加した。

◆遠賀川水辺館カヌースクール

市外からの参加も多く小学4年生以上の幅広い世代を対象に大人の参加が多く見られた。

◆水辺の生き物しらべ

学習ビオトープ「春の小川」の水生生物調査、小学校の総合学習や生活科、理科などの教科に

対応した活動を提供ビオトープの多様性も増し多くの生物が見られるようになった。

◆遠賀川釣り体験

デポジット制の釣り具の貸出。遠賀川を身近に感じる取り組みの一つとして参加費は無料。

◆金曜日誰でもバードウォッチング

来館された全ての方を対象、初心者でもわかりやすく楽しく体験できる野鳥観察となった。

◆水辺館リバーツーリズム

遠賀川水辺館を拠点にして、川が育んだ自然や歴史、文化、まちづくりを学んだ。

■次世代の活動支援（地域との連携）

◆キッズLNC

6歳未満の子ども達と保護者対象。水辺館周辺の自然を活かした体験活動を行っている。

◆めだかの学校

「だ〜れが生徒か先生か♪」を合い言葉に春の小川の生き物と、生態系の係わりについて調べる。水質やタイコウチ という昆虫に特化して調べる「遠賀川生き物調査隊」野鳥の生態 や生息数を調べる「すずめ教室」遠賀川水辺館周辺を観察して絵に記録する「遠賀川を描こう！教室」を行っている。

◆YNHC（青少年博物学会）

中学生と高校生が学校の垣根を越え、情報交換ネットワークづくりや、環境調査やイベントのサポート、河川清掃に取り組んでいる。

◆JOC（大学生の災害支援ネットワーク） ◆遠賀川ユースリーダー

◆SWEEP（河川。環境ボランティア）

九州内の大学生のネットワーク構築を目指し水資源利用、治水、自然環境に対する認識を深める。各種イベントのサポーターや体験学習の企画、河川清掃に取り組んでいる

■まちづくり・環境保全の取り組み

◆壁面緑化や花壇づくり

遠賀川水辺館のゴーヤによる壁面緑化に取り組み、地球温暖化防止への節電に取り組んだ。

◆春の小川まつり（河川清掃）

遠賀川水辺館周辺と中の島公園の、ゴミ拾いと草取りを毎月最終日曜日に実施した。遠賀川水辺館の周辺はゴミが無くなりつつあるにもかかわらず、少し離れた駐車場には大量のゴミが落ちている状況にある。今後も継続して活動していきたい。

◆中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理

遠賀川水辺館周辺から春の小川ビオトープがある「中之島公園」における、除草作業および環境整備を行った。絶滅危惧種の植物や、昆虫類の成長に応じた選択除去を行っている。

◆直方市環境カレンダーの作成

直方市の地球温暖化防止対策の一環、楽しく記録ができる（環境カレンダー）の製作を受託。子ども達が風景や野鳥、水生生物、野草を描いた絵を活かした。

◆リバーチャレンジスクールの開催協力

子ども達に、遠賀川や自然をより身近に体験させるために直方川づくり交流会が中心となって、直方市や国土交通省を巻き込んで、体験活動を実施している。

平成27年度事業報告書

27年4月1日から28年3月31日まで
 特定非営利活動法人直方川づくりの会

事業の実施に関する事項
 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額(千円) |
|---------------------------------|--|----------------|--------------------|-----------------|---------------------------------|------------|
| ①環境保全に関する情報の収集及び提供に関する事業 | 遠賀川防災施設(遠賀川水辺館)管理委託 | 通年 | 遠賀川水辺館 | のべ100人 | 直方市、福岡県内外の幅広い年齢層の来館者 24,492人 | 2921 |
| | 遠賀川水辺館利用者の質的満足度向上のための提供行為業務 | 通年 | 遠賀川水辺館 | のべ100人 | 直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民 | |
| | 遠賀川地域防災施設河川情報提供 | 2015/4～2016/3 | 遠賀川水辺館 | のべ50人 | 直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民のべ500人 | |
| | 直方市環境家計簿作成業務 | 2015/7～2016/3 | 遠賀川水辺館 | のべ50人 | 直方市内外の住民 100家族 | |
| ②環境保全に関する企画・運営事業 | 春の小川まつり(河川清掃) | 通年 | 遠賀川河川敷 | のべ400人 | 直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民 | 1136 |
| | 花壇再生プロジェクト | 通年 | | のべ200人 | 直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民 | |
| ③環境保全に関する教育の実施に関する事業 | 水辺館カヌースクール運営 | 2015/7～2015/10 | 遠賀川水辺館 | のべ100人 | 直方市内外のべ200名 | 1829 |
| | 伝統文化(子ども教室) | | 遠賀川水辺館周辺 遠賀川水辺館 | のべ20人 | | |
| | キッズLNC めだかの学校 | 2015/5～2016/2 | 遠賀川水辺館及び周辺九州市内 | のべ100人 | | |
| | YNHC SWEEP 遠賀川ユースリーダー | 通年 通年 通年 | | のべ60人 のべ360人 | | |
| ④環境保全に関する計画の策定に関する事業 | その他団体の活動策定支援 | 通年 | 福岡県内外 | のべ200人 | 直方市内外ののべ100人 | 1020 |
| ⑤国、自治体、他団体が主催する環境保全に関する各種催しへの協力 | リバーチャレンジスクール(直方川づくり交流会) | 通年 | 遠賀川水辺館 | のべ200人 | 直方市内の子ども達200人 | 1802 |
| | 遠賀川流域中高生等活動交流会、遠賀川流域子ども水フォーラムの活動支援(YNHC、SWEEP) | 通年 | 遠賀川水辺館 | のべ100人 | 遠賀川流域の中高生のべ600人 | |
| | オープンカレッジの活動支援(JOC) | 通年 | 福岡県内外 | | 九州各地の大学生 | |
| ⑥助成事業 | その他団体への協力 | 通年 | 直方市内 | | 直方市、福岡市内外の幅広い年齢層の住民 | 1749 |

平成27年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

| 科目 | 金額 | 備考 |
|---------------------------|------------|-----------|
| I. 経常収入の部 | | |
| 1 会費収入 | | |
| 1) 1) | 18,000 | |
| 2 事業収入 | | |
| 遠賀川水辺館管理業務 | 2,220,000 | |
| 春の小川を活用した河川愛護意識啓発と理解度の関する | 3,384,400 | |
| 川の防災情報普及促進と理解度に関する調査 | 50,000 | |
| 遠賀川中流域水環境改善作業 | 766,800 | |
| 借入 | 3,000,000 | |
| 中之島公園管理業務委託 | 432,000 | |
| 直方市環境家計簿作成業務 | 0 | |
| 助成金 | 585,304 | |
| 参加費 | 0 | |
| 受取利息 | 250 | |
| 雑収入 | 16,087 | |
| 経常収入合計 | 10,472,841 | |
| II. 経常支出の部 | | |
| 1 事業費 | | |
| ①環境保全に関する情報の収集及び提供 | 2,121,600 | |
| ②環境保全に関する企画・運営 | 42,012 | |
| ③環境保全に関する教育の実施 | 1,448,085 | |
| ④環境保全に関する計画の策定 | 20,484 | |
| ⑤自治体・他団体の催し物への協力 | 302,622 | |
| ⑥助成事業 | 1,448,592 | |
| 2 管理費 | | |
| 人件費 | 2,548,788 | |
| 会費 | 36,200 | |
| 通信運搬費 | 62,967 | |
| 地代家賃 | | |
| 消耗品費 | 1,072,133 | |
| 図書費 | | |
| 手数料 | 35,377 | |
| 旅費交通費 | 234,390 | |
| 寄付金 | 13,000 | |
| 研修費 | 221,100 | |
| 会議費 | 95,870 | |
| 雑費 | 14,000 | |
| 賃借料 | 459,060 | |
| 家賃 | 90,000 | |
| 備品 | 28,944 | |
| 保険料 | 58,647 | |
| 所得税 | 30,691 | |
| 市・県・国税金 | 71,000 | |
| 租税公課 | 2,000 | 2,489,179 |
| 経常支出合計 | 10,457,562 | |
| 当期収支差額 | 15,279 | |
| 前期繰越収支差額 | 12,027 | |
| 次期繰越収支差額 | 27,306 | |

平成27年度「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表
平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

| 科目・摘要 | 金額 | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金 | 21,618 | | |
| 普通預金 | 5,688 | | |
| 未収入金 | 185,000 | | |
| 流動資産合計 | | 212,306 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 什器備品 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 212,306 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 短期借入金 | 185,000 | | |
| 未払金 | | | |
| 流動負債合計 | | 185,000 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 185,000 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 1 前期繰越正味財産 | | 12,027 | |
| 2 当期正味財産増加額 | | 15,279 | |
| 正味財産合計 | | | 27,306 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 212,306 |

平成27年度「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録

平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

| 科目・摘要 | 金額 | | |
|-----------------|---------|---------|---------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| 現金手許有高 | 21,618 | | |
| 西日本シティ銀行 | 5,688 | | |
| 未収入金 | 185,000 | | |
| 流動資産合計 | | 212,306 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 什器備品 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 212,306 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 短期借入金 | 0 | | |
| 未払金 | 185,000 | | |
| 流動負債合計 | | 185,000 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 185,000 |
| 正味財産合計 | | | 27,306 |